

第 767 回 新潟医学会(オンライン講演会)

第 767 回新潟医学会・オンライン講演会を下記の要領によって開催致しますのでご案内申し上げます。
大学院生、学部学生の皆様、看護師、医療関係者の方々の出席を歓迎します。参加料は無料です。

ZOOM URL については新潟医学会事務局にメールでお問い合わせください。

日 時 令和 4 年 7 月 21 日 (木) 18:00 から

新潟医学会集会幹事

記

I. 特別講演 (18:00~18:20)

座長 川島 寛之 先生

(整形外科・リハビリテーション学 教授)

「新潟県における大腿骨近位部骨折発生状況の推移と今後の課題」

今井 教雄 先生

(健康寿命延伸・運動器疾患医学講座 特任教授)

大腿骨近位部骨折は骨折後寝たきりになるケールが少なくなく、骨折後 1 年以内に 20% 程度が死亡する、『骨粗鬆症の最悪の転機』である。本邦において大腿骨近位部骨折は依然増加し続けており、骨折を減らすことは喫緊の課題である。新潟県においては 2010 年をピークに骨折率は減少に転じてきているが、今後この骨折をさらに減少させ、また、骨折後どのように対処をしていくべきなのか、調査結果から概説する。

II. 特別講演 (18:20~18:40)

座長 五十嵐博中 先生 (脳研・生体磁気共鳴学 教授)

「霊長類の無侵襲脳波記録で探るヒト脳機能の進化」

伊藤 浩介 先生 (脳研・生体磁気共鳴学 准教授)

ヒト脳は、進化により少しずつ、その機能を獲得してきた。すると、ヒトに特有の高次脳機能の理解には、ヒトと非ヒト霊長類の脳機能を比較する進化的な視点が有用だろう。演者は、無侵襲のヒト脳波記録法を非ヒト霊長類に適用することで、同一の実験条件かつ同一の脳指標による、脳機能の厳密な種間比較を行う実験系を確立した。これにより、ヒトにおける言語や音楽の獲得を支えた聴覚野機能の進化を探っている。

III. 特別講演 (18:40~19:00)

座長 小野寺 理 先生 (脳神経内科学 教授)

「臨床研究・レギュラトリーサイエンスの推進を目指して」

田中 基嗣 先生 (臨床研究推進センター 准教授)

臨床研究によるエビデンス創生は、医学の発展と社会福祉の向上のために重要であり、大学病院の使命でもある。演者は、研究者又は支援者として臨床研究を数多く経験し、医薬品医療機器総合機構の審査員として治験相談や承認審査を通じてレギュラトリーサイエンスを学んだ。本講演では、演者の経験を踏まえて、臨床研究・レギュラトリーサイエンスを推進し、本学における臨床研究の発展に貢献する展望について述べる。

IV. 特別講演 (19:00~19:20)

座長 石川 浩志 先生 (放射線医学 教授)

「心血管系画像診断の最近の進歩」

堀井 陽祐 先生 (放射線部 准教授)

CT や MRI の機器の進歩や撮影技術の向上により病気を画像で明瞭に描出することができるようになった。心血管疾患領域でも、症状の原因を発見し、治療方針を決定することに画像は非常に重要な役割を果たしている。本講演では放射線科領域で心血管系の画像をどのように診断して、画像下治療などの治療に繋げていくのかを最新技術とともに解説する。

V. 特別講演 (19:20~19:40)

座長 小野寺 理 先生 (脳神経内科学 教授)

「Matrisome の擾乱から見た脳小血管病の分子病態と治療法への展望」

加藤 泰介 先生

(脳研・分子神経疾患資源解析学 准教授)

脳の小血管変性によって発症する脳小血管病は、認知機能低下の主要な原因の 1 つであるがメカニズムは不明であり、有効な治療法は未だ開発されていない。Matrisome とは細胞外マトリクスを中心に形成される細胞外環境構成タンパク質群の総称である。本講演では、遺伝性脳小血管病の研究から見えてきた、matrisome 恒常性の異常という脳小血管病の分子機構と治療標的としての可能性について紹介させていただきます。

VI. 特別講演 (19:40~20:00)

座長 寺井 崇二 先生 (消化器内科学 教授)

「大学院生と共に学ぶ」

土屋 淳紀 先生 (消化器内科学 准教授)

この度、消化器内科学分野准教授を拝命いたしました土屋淳紀と申します。私は今まで、21 名の大学院生と共に消化器内科に関連する疾患を、炎症・線維化・再生、癌、代謝、エクソソーム、腸内細菌など分野横断的に応用できるテーマで研究をして参りました。また、学内・学外の多くの臨床・基礎の先生方との共同研究や産学連携を通じて理解を深めてきました。本講演では、大学院生と共に学び明らかにしたことを発表したいと思います。

新潟県医師会生涯教育講座の認定を申請しております。

大 学 院 特 別 講 義

(連絡先) 新潟医学会事務局

TEL 025-227-2032

e-mail igakukai@med.niigata-u.ac.jp